



生きていく。



#生きづらさを
生きていく。

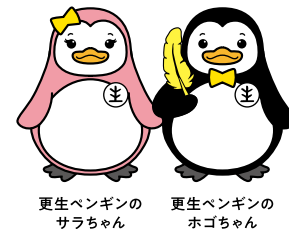
主唱 / 法務省
MINISTRY OF JUSTICE

犯罪や非行を防止し、立ち直りを支える地域のチカラ

第72回 社会を明るくする運動

7月は“社会を明るくする運動” 強調月間・ 再犯防止啓発月間です

“社会を明るくする運動”は、
すべての国民が、
犯罪や非行の防止と
犯罪や非行をした人たちの
更生について理解を深め、
それぞれの立場で力を合わせ、
犯罪や非行のない
安全で安心な地域社会を
築くための全国的な運動です。



更生ペンギンの
サラちゃん 更生ペンギンの
ホゴちゃん

“社会を明るくする運動”に参加しよう！

● 更生保護についてもっと知りたい方は

法務省 更生保護

検索

● お問い合わせはお近くの保護観察所まで

保護観察所

検索

● 更生保護ボランティアについては

更生保護ネットワーク

検索

法務省保護局
公式Twitter
アカウント



法務省
公式YouTube
チャンネル



法務省保護局
公式Instagram
アカウント



小さい頃から、
私と世界を隔ててきた“生きづらさ”。
世界は私の全てを拒絶した。

独りでもがいて、
自分も周りも傷つけた私が
保護観察になったのは、高校をやめたとき。

言葉にならない思いは、あふれて、止められない。
その人は、私の“生きづらさ”に触れることなく
でも包み込むように言った。

— 大丈夫。世界は広くて、温かくて、
私もいるんだから、きっと大丈夫。

“生きづらさ”の向こうにあった世界が、
少しだけ近く見えた。
私を拒んでいた世界は、私が拒んでいた世界。
その人の言葉が、世界と私をつないでくれた。

だから今。
今度は、君に伝えてる。

— 大丈夫。世界は広くて、明るくて、
私もいるんだから、きっと大丈夫。

#生きづらさを

社会的
孤立

依存

障害



貧困



一人ではどうにもならない生きづらさがあります。犯罪や非行の背景にも、生きづらさがあることは少なくありません。自らの過去と向き合い、生きづらさを抱えながらも、生きていく人たちの姿を受け入れ、生きづらさを包摂するコミュニティが必要です。立ち直ろうとする人のそばにいて、寄り添うこと。

立ち直りを支援する人たちの活動を、応援すること。立ち直りを応援するメッセージをフォロー・拡散すること。そして、立ち直ろうとする人の「生きづらさ」に思いを寄せること。

一人ひとりにできることが重なりあえば、大きなコミュニティがつけられていきます。

——立ち直ろうとする人が向かうその先に、もっとも大きな、生きづらさを包み込むコミュニティを、社会を明るくする運動が目指す、立ち直り支援の輪に、ぜひ、参加してください。

生きづらさに寄り添い 立ち直りを支援する方法は様々です



理解を深め 見守る

自らの過去と向き合い、罪を償って立ち直ろうとしている人たちへのご理解を、よろしくお願いします。

SNSをフォロー拡散



法務省保護局のツイッターやインスタグラム等で、立ち直り支援に関する様々な発信を行っています。QRコードは裏面にありますので、ぜひチェックしてみてください。



寄付で 応援する

立ち直り応援基金は、一口1000円からインターネットで誰でも気軽に寄付をすることができます。寄付金は、全国の

草の根の立ち直り支援活動に大切に使われます。



立ち直れる。その思いをツナグ。
立ち直り応援基金

イベントに参加する



地域のことを
もっとけない

更生保護女性会

更生保護女性会は、地域の犯罪予防活動や更生支援を行う女性のボランティアです。非行問題を考えるミニ集会のほか、子育て支援活動など、多様な活動を行っています。全国に14万人います。

立ち直りを支援する 担い手になる

立ち直りを 一番近くで見守る 保護司

保護司は、犯罪や非行をした人の立ち直りを地域で支えるボランティアです。地域の事情などをよく理解し、保護観察官と協働して、保護観察を受けている人に面接を通じた助言や指導を行い、受刑者等が社会復帰する環境への働き掛けなども行っています。全国に約4万7000人います。



若い人の視点で 立ち直り支援に参加 BBS会

様々な問題を抱える少年たちと、兄や姉のように身近な立場で接することで、少年たちの成長を助ける青年ボランティアです。全国に約4500人います。



「就労」と「見守り」の 両方を担う 協力雇用主



犯罪や非行をした人の立ち直りには、働くことが大変重要です。協力雇用主は、犯罪や非行をした人の自立や社会復帰に協力することを目的として、彼らを雇用しようとする事業主です。全国に約2万5000事業者がいます。



ほかにも、農福事業者、自助グループなど、立ち直り支援の担い手は様々です。そして、食育、スポーツ、アウトドアだっていい。立ち直り支援には、ダイバーシティが大切です。